



18年経済展望  
講演会で解説  
ぎふしん青年重役会  
岐阜信用金庫と取引  
先の若手経営者でつく

るぎふしん青年重役会  
は24日、新春合同講演  
会を岐阜市のホテルで  
開いた。みずほ証券チ  
ーフマーケットエコノ  
ミストの上野泰也氏が  
「2018年の内外経  
済・マーケット動向を  
どうみるか？」と題し  
て講演した。写真。

約700人が出席。

上野氏は景気動向指数  
のグラフを示して「16  
年後半から景気は良  
くなっているが、けん引  
してきた電子部品の輸  
出が頭打ちになる」と  
指摘。先行きについて  
は「東京五輪関連の投  
資が来年一巡する。米  
国の利上げが止まる影  
響で円高にもなる。来  
年10月には消費増税も  
控えている」と述べ、  
19年の景気悪化につい  
て言及した。

世界の景気の展望に  
ついては「IT化で価  
格情報を得やすくな  
り、物価が上がりにく  
くなっている。AI(人

工知能)の普及で職を  
失う人が増え、金融引  
き締めもやりにくくな  
る」と述べ、「株価が  
上がってバブルにな  
り、はじめてまたバブ  
ルになる悪循環になる

失う人が増え、金融引  
き締めもやりにくくな  
る」と述べ、「株価が  
上がってバブルにな  
り、はじめてまたバブ  
ルになる悪循環になる